（　数学Ⅱ　）　学　習　指　導　案

授業者	笹岡　慎太郎

学　科	普通科	学年・組	２年３組	日　時	平成 27 年５月 27 日（水）第３限
教　室	134 教室	使用教科書	新編数学Ⅱ（数研出版）		

単　元	第３章　図形と方程式		
指導目標	座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	指導計画	１　点と直線・・・・・・・・・・・・・・・８時間 ２　円・・・・・・・・・・・・・・・・・・６時間 ３　軌跡と領域・・・・・・・・・・・・・・６時間 （本時はその１）

本時の指導

主題（教材）	軌跡と方程式
前時の課題	課題プリントを解いておく。
目標	１　軌跡の概念を理解し、軌跡となる図形を与えられた条件を満たす点の集合としてとらえ、考察させる。 ２　軌跡の概形をイメージし、具体的な問題を数学的に考え処理させる。 ３　座標を用いて、計算により軌跡を求められるようにする。

指導過程	学　習　活　動		時間	指導上の留意事項	資料・評価規準等
	導入	１　課題の確認をする。 ２　本時の目標を確認する。	５	・軌跡の概念を理解させる。	・期間巡視等により、予習の習慣化を評価する。
	展開	１　例題の解法の解説を聞く。 (1)　例 14 2 点 A(0, 2), B(4, 0)に対して，AP=BP を満たす点 P の軌跡を求めよ。 (2)　例題９ 原点 O からの距離と点 A(3, 0)からの距離の比が 2:1 である点 P の軌跡を求めよ。	３０	・点 P はどんな図形を描くか考えさせる。 ・座標平面上で条件を満たす点 P をいくつかとり、点 P の条件を理解させる。	【評価基準】 ・条件を基に、軌跡を検証している。 〈数学的な見方や考え方〉 【評価方法】 ・観察 【評価基準】 ・条件を満たす任意の点 P の座標を(x,　y)として条関係式を導いている。 〈数学的な技能〉
		２　練習 31、32 を解く。	１０	・解説した内容を踏まえた上で、解法を理解させる。	
	整理	１　本時のまとめをする。 ２　次時の学習内容を確認する。	５	・視覚的に捉えて、考えることができたか整理させる。	
備　考	Ⅲ類型（理系）　　生徒数 17 名（ 男子９名、女子８名 ）				